

登録医 NO.112

ドクター訪問

泉佐野おかざきクリニック

理事長

岡崎 由佳 先生

PROFILE

学生時代にはスキーや茶道に親しみ、ドライブも趣味で自分の運転でどこへでも出かけていました。

プライベートでは2人の娘を育てる母として、毎朝のお弁当作りを欠かさず、休日にはショッピングに出かけるなど、親子の時間を大切にしています。



OKAZAKI
YUKA

専門医が連携し、患者さんの笑顔を生む温かな診療を届けます

南海本線「鶴原駅」からすぐの場所にある 泉佐野おかざきクリニック では、眼科・呼吸器内科・糖尿病内科・内科の専門医が連携し、安心して受診いただける医療を提供しています。

理事長の岡崎由佳先生は、生まれ育った泉州地域に根ざし、地域の皆さまに寄り添う眼科専門医です。クリニックでは白内障や網膜硝子体手術を専門とする執刀医師を招き、最新の医療機器を導入しています。日帰りでの白内障・網膜硝子体手術に加え、緑内障・加齢黄斑変性症・糖尿病網膜症など、幅広い眼の病気に対応しています。

「初診で視力が大きく落ちていてる方でも、入院が必要なケースを除き、できる限り当院で治療を行っています。視力が回復したときの患者さんの笑顔は、私にとって一番の原動力です。世界が広がるその瞬間を共にできることが、眼科医としての喜びです。」

岡崎先生は、川崎医科大学附属病院にて小児眼科を専門とする教授のもとで研修を受け、子ども特有の斜視や弱視の治療に魅力を感じ、眼科医としての道を志しました。その後は大阪に拠点を移し、西眼科病院（大阪市）や野上病院（泉南市）で、白内障や網膜硝子体疾患の治療に加え、一般眼科診療も幅広く経験。多様な症例に携わりながら専門性を高めてきました。2013年には熊取町で「おかざき眼科クリニック」を開院。地域の「かかりつけ医」として診療を続け、現在は法人として「熊取ひまわり眼科」も運営し、両院が強力に連携しながら地域医療に貢献しています。

患者さんが定着する中で、手術室を増築して手術も行うようになると、待合室の椅子が足りなくなるほどになりました。そこで新しい環境を求めて移転を決意

し、2020年に現在の場所で再スタートしました。「コロナ禍での船出は決して容易ではありませんでしたが、多くの患者さんが変わらず足を運んでくださり、地域に支えられていることを日々実感しています。おかげさまで2025年までに累計4,500件以上の手術実績を重ねることができました。一人ひとりの患者さんに安心して受けていただけるよう、これからも丁寧で安全な医療を心がけてまいります。」

「頼れる専門医やスタッフに恵まれ、そして何より患者さんに信頼していただけるからこそ、モットーとする“患者さんの気持ちに寄り添う医療”を実践できています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。」と岡崎先生。診察室では病気や治療の話だけでなく、日常の会話を大切にし、そこから感じ取った家族との関わりなどもカルテに記録して、診療に生かしています。

「QOV（視覚の質）はQOL（生活の質）に直結します。手術を通じて患者さんの世界が明るく広がる瞬間に立ち会えることは、私にとって何よりの喜びです。これからも眼科検診の大切さを広く呼びかけ、重症化を防ぎ、早期発見・早期治療に努めてまいります。」と今後の展望を語ってくださいました。



● 泉佐野おかざきクリニック

〒598-0071
大阪府泉佐野市鶴原
1丁目2-20ふたつ星ビル4階
TEL 072-493-2020



▲ 内装の絵画



詳細情報は
こちら！